

令和7年7月28日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所

工事発注手続きについて

～「R7国道20号甲府・甲府住吉電線共同溝工事」外4件の発注手続きを行います～

甲府河川国道事務所が発注する「R7国道20号甲府・甲府住吉電線共同溝工事」「R7国道20号甲府国母・甲府徳行電線共同溝工事」「R7国道20号甲斐電線共同溝その11工事」「R7国道139号富士北麓（2）電線共同溝その10工事」「R7国道139号鳴沢電線共同溝その4工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R7国道20号甲府・甲府住吉電線共同溝工事」「R7国道20号甲府国母・甲府徳行電線共同溝工事」「R7国道20号甲斐電線共同溝その11工事」「R7国道139号富士北麓（2）電線共同溝その10工事」「R7国道139号鳴沢電線共同溝その4工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 余裕期間制度（任意着手方式）
5. 施工箇所が点在する工事の積算（工事1、工事2）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 山梨県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 甲府河川国道事務所

電話：055-252-5491（代表）

メールアドレス：ktr-koho-koufu@mlit.go.jp

副所長（道路） 有上（ありうえ）

工務第二課 課長 山田（やまだ）

《工事1概要》

- (1) 工事名：R7国道20号甲府・甲府住吉電線共同溝工事
- (2) 工事場所：甲府地区：山梨県甲府市西高橋町
甲府住吉地区：山梨県甲府市住吉4丁目～同市住吉5丁目
- (3) 工期：工事の始期から387日間
(但し、令和8年3月9日(工事着手期限)までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式 企業実績評価型)
- (5) 工事種別：アスファルト舗装工事 A+B等級
- (6) 工事内容(概要)：

【甲府地区】

電線共同溝工事 工事延長(上り) 約230m
管路工 約230m
プレキャストボックス工 5基
付帯設備工 1式
仮設工 1式

【甲府住吉地区】

電線共同溝工事 工事延長(上り) 約100m
管路工 約100m
プレキャストボックス工 2基
付帯設備工 1式
仮設工 1式

《工事2概要》

- (1) 工事名：R7国道20号甲府国母・甲府徳行電線共同溝工事
- (2) 工事場所：甲府国母地区：山梨県甲府市国母7丁目～山梨県中巨摩郡昭和町西条
甲府徳行地区：山梨県甲府市徳行3丁目～同市徳行4丁目
- (3) 工期：工事の始期から380日間
(但し、令和8年3月16日(工事着手期限)までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式 企業実績評価型)
- (5) 工事種別：アスファルト舗装工事 A+B等級
- (6) 工事内容(概要)：

【甲府国母地区】

電線共同溝工事 工事延長(下り) 約200m
管路工 約200m
プレキャストボックス工 4基
付帯設備工 1式
仮設工 1式

【甲府徳行地区】

電線共同溝工事 工事延長（下り） 約220m

管路工 約220m

プレキャストボックス工 4基

付帯設備工 1式

仮設工 1式

《工事3概要》

(1) 工事名：R7国道20号甲斐電線共同溝その11工事

(2) 工事場所：山梨県甲斐市富竹新田地先

(3) 工期：工事の始期から271日間

(但し、令和8年3月27日（工事着手期限）までに工事を開始すること。)

(4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式 企業実績評価型）

(5) 工事種別：アスファルト舗装工事 B等級

(6) 工事内容（概要）：

電線共同溝工事 工事延長（下り） 約190m

管路工 約190m

プレキャストボックス工 3基

付帯設備工 1式

仮設工 1式

《工事4概要》

(1) 工事名：R7国道139号富士北麓（2）電線共同溝その10工事

(2) 工事場所：山梨県南都留郡富士河口湖町勝山地先

(3) 工期：工事の始期から464日間

(但し、令和7年12月22日（工事着手期限）までに工事を開始すること。)

(4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式 企業実績評価型）

(5) 工事種別：アスファルト舗装工事 A+B等級

(6) 工事内容（概要）：

電線共同溝工事 工事延長（上り） 約430m

管路工 約430m

プレキャストボックス工 6基

付帯設備工 1式

仮設工 1式

《工事5概要》

(1) 工事名：R7国道139号鳴沢電線共同溝その4工事

(2) 工事場所：山梨県南都留郡鳴沢村焼間地先

(3) 工期：工事の始期から526日間

(但し、令和7年10月21日（工事着手期限）までに工事を開始すること。)

(4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式 企業実績評価型）

(5) 工事種別：アスファルト舗装工事 A+B等級

(6) 工事内容（概要）：

電線共同溝工事 工事延長（上り） 約260m

管路工 約260m

プレキャストボックス工 9基

付帯設備工 1式

仮設工 1式

《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の新規契約の有無及び賃上げの実施を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 対象等級の拡大

競争参加者数が少数と見込まれることから、工事1, 2, 4, 5については、対象等級をA等級からA等級又はB等級に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「交通規制を行った工事」に限定せず、「電線共同溝を施工した工事であること」として緩和します。

3. 難工事指定

本工事は、交通量の多い現道上の限られた狭隘な作業ヤード内での施工となることから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

4. 余裕期間制度（任意着手方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり工事着手期限の間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

5. 施工箇所が点在する工事の積算について（工事1、工事2）

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

本工事の地区は、

工事1 甲府地区、甲府住吉地区

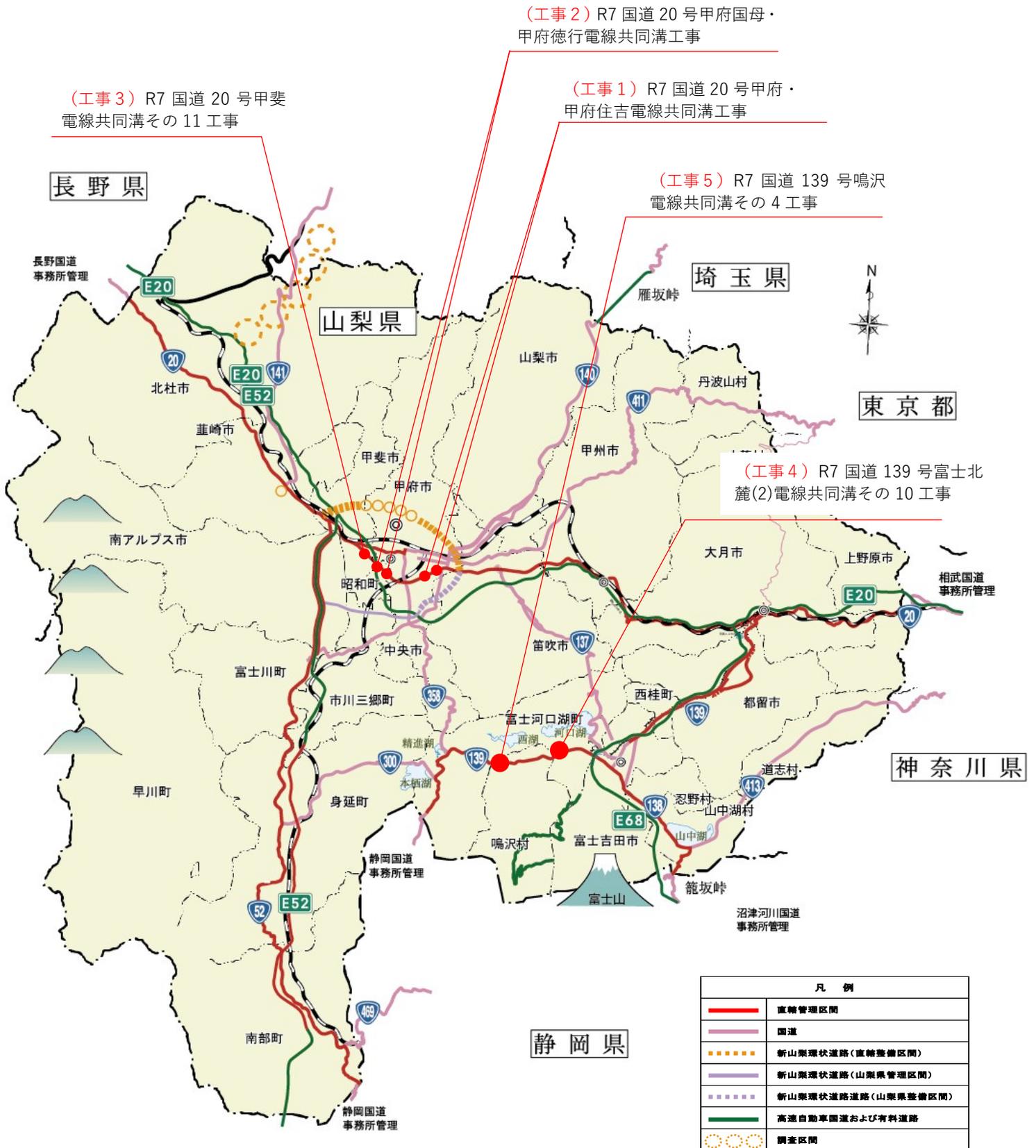
工事2 甲府国母地区、甲府徳行地区

とし、工事位置図は次頁のとおりです。

《スケジュール》

- | | |
|------------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書交付 | : 令和7年7月28日（月） |
| ○技術資料等の提出期限 | : 令和7年8月 7日（木） |
| ○入札書・工事費内訳書の提出期限 | : 令和7年9月12日（金） |
| ○開札日 | : 令和7年9月19日（金） |

【位置図】



公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

